

件名	第1回 西口駅前広場検討部会		
日時	平成26年2月18日(火) 午後2:00~4:00	場所	大田区民ホール・アプリコ地下1階 小ホール
出席者	委員16名(うち1名代理出席) 傍聴者19名		
配布資料	第1回西口駅前広場検討部会資料		

(以下、敬称略)

◆開会・挨拶

- ・大田区まちづくり推進部再開発担当部長より、挨拶。
- ・委員の自己紹介

◆資料説明

- ・大田区事務局より、西口駅前広場検討部会の設置(資料1)、蒲田駅周辺再編プロジェクトパンフレット(資料2)について説明。
- ・日建設計総合研究所より、西口駅前広場 初動期整備の検討(資料3)、蒲田駅周辺地区の現況・特徴(参考1、2)について説明。
- ・大田区事務局より、今後のスケジュール(初動期整備関連)(資料4)について説明。

◆意見交換

委員)

今後どのように進めるのかによるが、蒲田駅の東西をどのように繋げるのかということが前提として出てこないのはおかしいと思います。何か提案をしてもらわないと、答えようがない。

委員)

率直な意見ですが、まず初期は駅前広場をフラットにして、それから北側の横断歩道の脇を危ないので横断歩道を広くする、それをまず西口はやって、東西の自由通路については、やらないのではなく5年から10年先にもってくわけですね。自由通路の整備というのは、結局JRさんが協力しないとできないことだと思います。

大田区)

この部会では、初動期の整備を対象にしています。来年度の設計に、どのような考え方で駅前広場をデザインしていくのか、地元の皆さんの声を反映していくための整理をするのが、当面の目標です。

それではVRでご説明します。南側の段差解消と、北側の歩道空間の整備というのを初動期の再編プロジェクトの中で考えています。それによって空間的な広がりをもたせること、歩行者の移動を円滑化すること、高齢者や車椅子、ベビーカーにも優しい空間であること、駅と商店街との連続性を高めてにぎわいを創出すること等をめざしております。あわせて交通島の六角形の植栽帯についても検討し、全体的なデザインを考えていきたいと思っています。

委員)

資料1の3検討事項の案が出てこない、委員の皆さんから意見が出てこないのではないのでしょうか。検討事項ですからこの場で検討するのでしょうかけれども、この資料だけでは特に意見はありません。

大田区)

ある程度たたき台を提案してほしいというご主旨でしたら、次回以降、私どもの方でいくつかの案をご提示するのは可能と考えております。

◆資料説明

大田区事務局より、資料4 今後のスケジュールについて説明

◆意見交換

委員)

東急駅前の広場のフラット化に合わせて、移動の円滑化のために六角形の植栽をフラットにさせていただきたい。しかしデザイナーや専門家もいない中で、部分の話から入ると将来像が見えてきません。デザインの方向性、素材を出して頂いたほうが議論になるのではないのでしょうか。東西自由通路は10年、20年後ですが、歩行者、自転車も東西自由通行ができるものがよいと思います。地下でいくのか、24時間自由通路なのかなど問題はありますが。

大田区)

交通島の植栽について、ご意見を伺いたいのですが、この植栽帯については一昨年「NHK 梅ちゃん先生」の記念植樹であり、一定のシンボリックな意味合いもあると思いますが、どうでしょうか。

委員)

別の場所に植樹すればいいのでは。フラット化した方がよいと思います。

委員)

歩きやすくするというのが絶対条件だと思います。広場内は駐輪や看板を禁止することを徹底し、駅前から各商店街の通路にどう動線をつくるかが大事だと思います。

駅前の木を移植するのならば、植栽計画をどうするのか、周りのシンボルロードの緑とどうつなげるのか、専門家に検証してもらい、良いか悪いかを考える必要があると思います。

また西口全体の統一したデザインが必要だと思います。蒲田西口にある工学院や富士通、富士通はその前は黒澤タイプライターがありました。昔からのものづくりのまちで、いまだにデザイン性のある施設が残っているのであれば、それらを取り入れていくことも一つの考えです。どのような駅前にするのか、ということも議論していくべきだと思います。

委員)

統一したデザインと言え、例えば川越は、看板や建物など統一的にしている。それと比べると、蒲田の街並みはひどいですね。

大田区)

トータルデザインという話が出ましたが、どのようなイメージ、使い方などに焦点をあてて感覚的なもので構いませんのでご意見をください。

委員)

駅前広場をフラットにすれば、実際は良くはなるとは思います。西口の全体の考え方を示してください。特に北側のバス降車場からの横断歩道を広くしても、駅から向かった場合は、その先の歩道が狭くなっているし、駅の北側は少し歩くとホームがあって、当然車が通り、その先が自転車駐車場になっています。自動車と自転車と歩行者の流れの全体を考えてもらわないと、歩行者環境が良くなるのかどうかかわからないと思います。

委員)

私はフラット化大賛成です。出来るところからやりましょうということ合言葉にして、来年度から設計をやって、整備を進めていけば皆さんの目が変わるとは思います。

大田区)

蒲田の西口のイメージがあればおっしゃってください。

委員)

私は、蒲田で生まれ育って、焼野原も知っている。町会では、美化運動で、たばこの吸い殻拾いを朝7時から8名ずつ月・水・金で行っているが、一向に減りません。マナーが悪い人が多いと思います。ベンチがあれば、たむろする人がいるので公園の中でベンチはいらないと考えています。駅前には連合会があるので皆で一緒になって積極的にやりましょう。我々が動いて行政を動かしましょう。行政にお願いしただけでは、せいぜい貼紙程度で終わってしまいます。

大田区)

貴重なご意見ありがとうございます。ご意見伺っていますと西口のイメージはあまり良くないですがそれを反対に解釈すると、目指すべきイメージが出てくるかと思っています。次回の検討の際に参考にさせていただきます。

委員)

ここで言う話ではないかもしれませんが、街の飲み屋さん和学校が近いので、すごく影響が良くないと思います。そういうのを取り締まって明るい街にしたいと考えています。街の話と方向が違つかもしれないが大事なことではあるのでお願いしたいと思っています。

委員)

計画を見ますと、駅前広場の面積自体が小さいので、もう少し拡張するなどの考えはないのでしょうか。広場をバリアフリーにしてもあまり効果がないのでは。JRと東急が10年、20年先だか分からないというが、その2社が一体になってやらなければ意味がないと思います。東西通路についても階段やエレベーターを使ったりしないで、平らな状態で東西の行き来が出来るようにしてほしいです。新空港線の問題もありますが、まずは、駅前広場をもう少し広くしないとまずいのではという考えを持っています。

大田区)

広場の拡張については、初動期の段階で取組む計画は今のところありません。しかし決して現状で満足な駅前広場と考えているわけではなく、中長期的に広げていく方法もあると考えております。それをどのような形にするのか、地権者の皆さま方と、全体会や街区部会などをやりながらご相談していきたいと考えています。また、JRと東急のご参加については、我々の考えがまとまっていない状況では難しいと考えます。それぞれの会社を代表してご参加頂くわけですので、その状況ではご発言しにくいと思います。タイミングを見計らって呼びかけないと、せっかく来ていただいても、実りが得られません。また新空港線については、駅や出入口がどこになるのかなど、その問題とリンクするので、中長期を見据えて蒲田の西口を考えていきたいと思っています。

大田区)

蒲田は40年50年変わっていないが、このような会議をきっかけとして、新たなルールを作っていくことで、ビルの色調など、街全体が変わる可能性を大いに持っていると思います。一定の方向性を作り、街全体でやろうというようにすれば、ビル建替えの時にも徐々に反映されていくのではないのでしょうか。

大田区)

昨年、景観計画を策定しましたが、蒲田駅周辺、大森駅周辺などは、大田区を中心拠点として大田区の顔を背負っている場所でもあります。景観の視点をどう考えるのか、蒲田らしい良好な景観プラン、魅力的なまちづくりの観点から取組めたらと思います。

大田区)

蒲田駅西口に関しては東口よりも高いビルが多いですし、雰囲気異なりますので、西口らしいそういったものを打ち出していくことが良いと考えております。街の管理をする立場としては、ライフサイクルコストを重要視して10年20年耐えられる素材でデザインしたいと考えております。

大田区)

コンセプト、トータルデザインイメージにつながるような素材をご提供させて頂きたいと思っておりますが、端的に西口のイメージを表すキーワードなど、素材を作る際の参考にさせていただきたいのですが。

委員)

西口にいる方は、多摩川をよく知っている方が多いと思います。西口の駅前広場もコンサートばかりではなく、西口らしい歴史文化とか提示するスペースとして、行政と連携しながら、出会いとか交流ができる広場にしたいです。

大田区)

今のご意見は、にぎわいを創出していった方が良い、広場の使い方にしても単なるイベントだけではなく交流の場にもというお話ですが、若い人を迎入れるなど広場の使い方などのご意見もいただきましたが、広場をどのように使っていくのかという観点でいかがでしょうか。

委員)

若い人にも来てほしいが、やはりクオリティが高い方が良い、蒲田モダンみたいなそれなりに大人としての街並みを示して、そこに若い人を受け入れるというのがいいと思います。蒲田大好き委員会でやっている物産展や国際的な交流イベントなど、交流が一つのテーマになると思います。

委員)

駅前広場では、国際交流、物産展、東急・商店街・工学院が企画して頂いているクリスマスコンサートなどで、ずいぶん使わせていただいておりますが、清潔なイメージが第一だと思います。蒲田の一番良いところは、にぎわいがあることです。シャッター通りにはなっていません。城南でも一番にぎやかな街であり、下町的な要素を持っています。明るい基調が良いと思います。どういう色彩を持ったカラーがいいのか、専門家の方に出して頂いたものを検討したいと思っています。

委員)

使い勝手が良い、きれいな広場にして欲しいと思います。そういう広場があれば、街もきれいだし、にぎわいも出てきます。工学院の学生さんがかなり多いので、商店街や地域の人たちも交えた催しものができればいいなと思います。

大田区)

にぎわいも保ちながら、クオリティは高くというお話もありましたが、これら両立はするのでしょうか。

委員)

にぎわいとクオリティの両立はすると思います。どこにでもあるような駅前ではなく、蒲田西口の歴史や良いところも感じられるような駅前広場にしたいと思います。

大田区)

なるべく広く地域の方々の意見を反映させたいと考えていますので、具体的にどういったことに困っているのか、どうしたいのかというご意見が上がってくるような仕組み、場を設けて頂きたいと考えています。

大田区)

蒲田モダンを活かすというご意見がありましたが、色彩の関係についてはどうでしょうか。

委員)

周りの建物もあるので、一度、色彩のシミュレーションをしてはどうでしょうか。

委員)

参考資料2の駅前広場の写真を見ても多様な色があります。真ん中の交通島がなくなってフラットになり、東急前の広場もフラットになり、歩道のイメージを決めるには、具体的にイメージを膨らませる必要があると思います。是非、事例を出していただきたい。

委員)

色彩については、専門家に案を出してもらった方が良いでしょう。あの広場に面しているものには景観の基準から外れているものがたくさんあります。

大田区)

景観計画の基準は、建物の色彩は一定規模以上のものは届け出に基づいて事前の協議を通じ、色彩の基準の範囲内に収めてもらっています。しかしその範囲については、どうしても無難な色になります。広告物も含めて検討する必要があると思います。

大田区)

景観計画とリンクして蒲田まちづくりを議論していくべきだと考えています。景観のアドバイザーも活用しながら次回ご提案できることを目指します。

委員)

景観は行政の力と我々の自発的行動が重ならなければ出来ないことだと思います。建物の色彩の収める範囲、看板の大きさや突出幅などある程度規制をする必要があります。街が良くなるために、我々もその知識を持ちたいと考えています。デザインの専門家の話を聞きたいです。

委員)

この委員の中で女性が誰もいないので、これからは女性の感覚があったらと思います。

◆その他

次回の開催日については、後日連絡。

第1回西口駅前広場検討部会 出席者（敬称略）

職	所属及び氏名
委員	蒲田西地区自治会連合会長 藏方 庸光
委員	西蒲田女塚町会長 大澤 麻純（欠席）、 （代理：牧岡 照男）
委員	蒲田西口町会長 柳通 勝麿（欠席）
委員	西蒲田七丁目御園町会長 吉川 武夫（欠席）
委員	西蒲田八丁目町会長 浦辺 博
委員	蒲田西口商店街振興組合理事長 片山 篤榮
委員	蒲田西口クロス通り商店会長 紺野 博
委員	蒲田大好き委員会会長 望月 清志
委員	蒲田再開発推進委員会委員長 田中 常雅
委員	特定非営利活動法人 大身連 宮澤 勇
委員	大田区まちづくり推進部再開発担当部長 八嶋 吉人
委員	大田区まちづくり推進部都市開発課長 （蒲田再開発担当課長兼務） 齋藤 浩一
委員	大田区まちづくり推進部蒲田再開発担当副参事 近藤 純司
委員	大田区まちづくり推進部都市計画担当課長 西山 正人
委員	大田区都市基盤整備部都市基盤管理課長 畑元 忠
委員	大田区都市基盤整備部建設工事課長 石井 一雄
委員	大田区都市基盤整備部蒲田まちなみ維持課長 高橋 義博
委員	大田区蒲田西特別出張所長 有我 孝之
事務局	大田区まちづくり推進部都市開発課地域整備担当
事務局	(株)日建設計総合研究所

第1回西口駅前広場検討部会 の様子

